

【ガラテヤ人への手紙 2章】

「人は律法の行いによっては義と認められず、ただキリスト・イエスを信じる信仰によって義と認められる、ということを知った～」

(ガラテヤ2:16)

キリスト教会とはイエス・キリストを救い主として信じる人の集まりであり、ギリシャ語ではエクレシアで、この世のから選び分かれたれ、救われた者の交わり、集まりをいいます。しかしコリント教会やガラテヤ教会には違った教えをもたらしていることにパウロは真っ向から講義しました。ここでは、テスがギリシャ人であった為、「割礼を受け、ユダヤ教の掟を守ることによって救われる。」などという考えに対して、パウロは自分が体験した復活の主との出会いを通して、**イエス・キリストを信じる信仰によってのみ義とされる**ことを強調しています。パウロは、律法に従おうとすればするほど自分は従い得ない惨めなもので、「私は本当に惨めな人間です。誰がこの死の体から私を救い出してくれるのでしょうか。」と告白しています。自分を死から罪から呪いから解放されたのはただただイエス・キリストによることをよく知っていました。ペテロやバルナバでも、ユダヤの掟を守ることでクリスチャンになったのではないにもかかわらず、ただ罪を取り除いてくださるイエス・キリストを信じる信仰によってのみ救われたのに、あとになってやはり割礼を受けるべきだとか言うならそれは罪になるということをはっきり言いました。パウロは、自分の命の恩人とも思われるバルナバやケパ(ペテロ)でさえ、福音の真理にまっすぐ歩んでいないなら、それを正して、人を恐れていません。自分が使徒として立てられたのは、人の推薦ではなく、イエス・キリストによると言っています。

パウロはキリストと共に十字架に付けられました。もはや自分が生きているのではなく、キリストが我が内に生きておられるから命があることをよくよく知っていたからです。

どこまでも十字架の主に立ち返りましょう。神の言葉に聞き従うことも、決して自分ではできません。自分の弱さを教えられれば教えられるほど、主により頼み、罪を悔い改め、赦された平安を持って、感謝をもって、喜んで感謝して主に従ってゆきましょう。人を恐るのではなく、神様のみ前に徹底した悔い改めをして、神からの平安と勝利を受けてゆきましょう。神はそのような人たちに道を開き、助けを与えてくださるでしょう。

神様は「山に逃げよ！」と言われ、白馬キャンプに私たちを集められます。それは聖霊の油注ぎをされ、いよいよこれからの宣教の働きのために備えをしてくださる為でしょう。もう一度神様の前に立ち悔い改め、聖霊を受ける備えをしたいものです。愛と恵みを徹底的に受けて、異邦人伝道(世界宣教)に遣わされたたパウロのように！



TLCCC FRH

天に登録されている長子たちの教会

Church of the Firstborn who are Registered in Heaven

主任牧師:イエス・キリスト

牧師:ダニエル大重

SHILOAM

【シロアム：遣わされた者】

2012.7.22 No.693

今年のみ言葉 歴代誌Ⅱ 20:22

我らが喜びの声、賛美の声をあげ始めたとき、
主は伏兵を設けて～彼らは打ち負かされた。



「山に逃げよ！」

主の十字架クリスチャンセンター(TLCCC)

The Lord's Cross Christian Center

<http://tlcccfrh.astone-blog.jp/>

* 皆様のお手荷物・貴重品等には十分ご注意下さい。

教会内での紛失や盗難等については一切責任を負いかねます。